



市民平和の会

草野 勝義
議員

▼平和学習と教育環境について

Q 本市の教育委員会は、どのような平和教育をしているのか。

A 核兵器や戦争の怖さ、平和の尊さを理解させ、戦争や原爆は絶対に許さないという信条を持ち、世界平和に向けて行動できる児童、生徒を育成することを目的とし平和学習を行っている。

Q 有明中学校の校長が、被爆体験者による講話を途中で中止させたとの報道があったが、そのことについて、教育長は校長にどのような指導をしたのか。

A 講師が原発反対や歴史認識等ついての話を始めたため、話を中止させた判断についてはやむを得ないと考えるが、中止させる方法として、講師の立場を考え、メモを渡す等の方法があったのではないかとこの点について、大変残念であり、遺憾に思うと指導した。

Q 今回の事案を今後どのように生かすのか。

A 被爆県長崎として、平和教育の推進について後退させてはならないと考

えており、次年度は講師との十分な打ち合わせを行い、最終的な確認もしながら平和教育を推進していきたい。

Q 本市にも不登校の児童、生徒がいるが、どのように対応しているのか。

A 学校復帰を支援するひまわり教室を開設し、教育相談、集団生活への適応指導、学習支援を行っている。また、スクールソーシャルワーカーも学校教育課に配置し、家庭への派遣や子供たちへの声かけを行っていききたい。

Q 教員は勤務終了後も家庭に仕事をもち帰ったり、クラブ活動、PTA活動等多忙に働いている。改善策はどのように考えているのか。

A ノー残業デー、ノー部活デーを導入している。また、昨年四月から、会議や研修会等の削減や時間短縮にも取り組んでいる。

▼福祉政策について

Q 国民健康保険制度は、今後どのように変わるのか。

A 平成三十年度以降、都道府県を財政運営主体とした体制に変わることになるが、市町村はこれまでどおり、地域におけるきめ細かな事業を担う。

【その他の質問項目】

◇マイナンバー制度について

◇生活環境と労働



実践クラブ

北浦 守金
議員

▼農業振興対策について

Q 本市農業の持続的な発展、推進を図る上でも農地の基盤整備の計画的な推進並びに事業予算の確保が必要と考えるが、①国、県に対しての事業予算の確保の働きかけと、②今後の基盤整備の計画はどのように考えているのか。

A ①本市が加入する各種協議会を通じて、予算確保の要望を行っている。②本年は三会原第三地区の事業に入ったところであり、三会原第四地区の平成二十八年度採択に向けて進めている。

Q 平成二十七年、本市の基盤整備事業の予算配分が減額されている。三会原第三地区の事業に影響はないのか。

A 三会原第三地区は、四年間での事業計画だが、予算配分がそのまま推移すると、倍ぐらいの期間を要することになり、若い後継者の農業への意欲が失われることが心配されるため、上京し要望活動を行っている。

Q 地方創生の総合戦略には、新規就農者や農業後継者が、将来に向けてのビジョンや希望がかなえられるような農業振興策が必要だと思いがどうか。

A 総合戦略の筆頭に来るのは農業の応援だと思うので、生産基盤の整備、省力化を図り、所得のアップを目指したい。また、新規就農者の確保については、青年就農給付金という制度を設けており、本市の担い手の育成、確保に取り組んでいきたい。

▼道路、交通行政について

Q 新港への侵入道路である礪石原松尾停車場線は利用頻度が高いため、島原道路が整備される前に、この道路を高架にする必要があると思うがどうか。

A 県にも要望しているが、費用対効果の問題がある。しかし、新港への車の乗り入れが非常に多いこと、出ハインターチェンジからの接続が大変不便なこと、通学時等の交通事故の防止など、費用対効果以上のことを要望活動に入れていきたい。

Q 島原道路の出平―有明間について、出平から三会の原口大橋までの区間と、原口大橋から有明までの区間の進捗状況に差があるように感じるがどうか。

A 三会地区については、測量の同意もほぼいただいており、同意を得た部分については測量調査を終え、設計を進めていると県からは聞いている。原口大橋から有明の区間については、現在、測量同意の説明会を開催しており、今後誠心誠意、丁寧な説明を行いながら測量同意のお願いをしていきたい。